舗装を進化させる新技術！

ポーラスコンクリート
排水機能を持ち低騒音を実現

1DAY PAVE
1日で交通開放が可能なコンクリート舗装

ダイヤモンドグラインディング工法
表面性状を回復させる優れた補修工法

提案します
耐久性に優れたコンクリート舗装は、
次世代につなぐ資産です。

コンクリート舗装6つの特長

ライフサイクルコストの低減
アスファルト舗装に比べて、ライフサイクルコスト（生涯費用:初期コスト+維持管理コスト）が低減できます。

既存コンクリート舗装のライフサイクルコスト調査結果報告書
R24 2009年1月の調査集計より

高い耐久性
耐久性が極めて高く長寿命。修繕の必要も少ないため、維持管理の合理化やそれに伴う環境負荷も軽減できます。

約50年間、大規模補修無しで供用している国道20号のコンクリート舗装区間（1962年施工）

路面温度の低減
アスファルト舗装に比べて最大で10℃程度の路面温度低減効果があります。都市のヒートアイランド対策に寄与します。

舗装路面のサーモグラフィ写真
日本道路協会／コンクリート舗装に関する技術資料より

大型車の燃費向上
コンクリート舗装は、走行抵抗が少ないため、大型車の走行で燃費を0.8%～4.8%節約できます。CO_2排出量の削減に貢献します。

走行抵抗試験を成田空港内誘導路（2006年）、国総研試走路・道東自動車道（2007年）にて実施、走行抵抗がアスファルト舗装よりも6～20%程度小さいという結果が得られています。

材料の安定供給
コンクリート舗装の主材であるセメントは、国産材料で生産されるため、安定供給が可能です。

セメント工場は北海道から沖縄までの●印の30ヶ所に立地。
中継基地（SS）は全国各地の約340ヶ所に立地。

廃棄物の有効活用
セメントは、建設残土や下水汚泥といった廃棄物・副産物を活用して生産されています。資源循環型社会構築に貢献します。

セメント工場では、廃タイヤや廃木材などの廃棄物を有効に生産工程に組み入れ、原料や熱エネルギーの一部として活用しています。

詳しくはセメント協会WEBサイト
www.jcassoc.or.jp をご覧ください

セメント協会 検索

TOP ページ→ 提案します コンクリート舗装

こちらのQRコードからアクセスできます➡

1DAY PAVE 製造施工マニュアル［第1版］

1DAY PAVEの技術資料として、ご活用ください。

〈目次〉　A4判 67頁

1 一般
2 コンクリートの製造
3 施工
4 検査
5 施工実施例（全14事例）

セメント協会WEBサイトにて
無料ダウンロードができます！

TOPページ
↓
提案します コンクリート舗装

ページ内の下記アイコンを
クリックでダウンロード

早期交通開放型コンクリート舗装
1DAY PAVE 製造施工
マニュアル ▶

こちらのQRコードから
ダウンロードできます
⬇

PDFファイル 5MB

早期交通開放型コンクリート舗装
「1DAY PAVE」 開発の経緯

コンクリート舗装

長　所	短　所
●耐久性が高い→LCC低減 ●ヒートアイランド現象の緩和 ●安定供給が可能	●交通開放に時間を要する ●補修が困難 ●乗り心地の悪化（騒音・振動）
多くの利点を有する	早期交通開放は 最も大きな課題の一つ

コンクリート舗装の長所を活かすには？？？

養生期間の短縮が有効

早期交通開放型コンクリート舗装
「1DAY PAVE」 想定適用箇所

（1）補修、打換え
・交差点、バス停、料金所、駐車場など
（**タイヤの据え切りや車両の停止・発進が繰り返される**場所
＝アスファルトの損傷が早い場所）
・交通渋滞による**わだち掘れが問題**になる箇所
・**長時間の交通規制が難しい**場所
（交通量の多い市街地、車線数の少ない生活道路）
（2）新設工事
・**工期短縮が必要**な道路やヤード

早期交通開放型コンクリート舗装
「1DAY PAVE」 施工実績の分布（09～18年度）

地域	件数
北海道	13
東北	15
関東	46
北陸	11
東海	34
近畿	30
中国	48
四国	8
九州・沖縄	24
合計	229

2009年にセメント協会開発後
セ協＆セメント各社による
普及活動

全国各地で展開中

コンクリートの性状は？
気温の影響は？
供用開始時期は？

技術マニュアル
の整備が急務！

※セメント協会　コンクリート普及専門委員会　調べ

早期交通開放型コンクリート舗装
「1DAY PAVE」 想定施工箇所・舗装断面（例）

想定施工箇所（平面外略図、斜線部分）

想定舗装断面

地方幹線道路に一般的に用いられる断面を想定